

DRUG

INFORMATION



2013 No. 23

平成25年9月13日発行

5-FU 注 250mg 製剤の剤形変更について

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

5-FU 注 250mg 製剤の剤形変更について

抗悪性腫瘍剤『5-FU 注 250 協和』についてですが、従来のアンプル製剤から1000mg 製剤と同じバイアル製剤に変更となり、薬品名称も『5-FU 注 250mg』へ変更となります。変更に伴い、オーダー入力等の対応については以下の通りと致します。

変更前
(アンプル製剤)



変更後
(バイアル製剤)



【オーダー入力について】

オーダー画面の名称変更はアンプル製剤の在庫が無くなり次第実施することと致します。名称変更に伴い DO 処方ができなくなるため、切替時にはレジメン選択薬剤等の再入力を依頼することがありますので、ご協力をお願い致します。

【保管方法について】

250mg アンプル製剤の貯法は「室温保存」でしたが、新剤形のバイアル製剤については「2～8℃保存」に変更となります。当院ではDI ニュース 2011 No.57 にて、従来の 250mg アンプル製剤の貯法(室温)と 1000mg バイアル製剤の貯法(2～8℃)との相違が原因による投与ミスが報告されたため、当院独自の試験結果に基づき、個人セットでの払出時にはいずれの製剤も室温保存とする運用としてきました。今回の製剤変更に伴い、いずれの製剤も 2～8℃保存に統一されることとなりますので、当院の運用についても両規格とも 2～8℃保存に変更することとします。病棟や外来での保管方法が変更となりますので、対応をお願い致します。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）までご連絡下さい。